

平城遷都1300年祭 県民活動支援事業『天平茶論シンポジウム』

天平の茶とその時代

聖徳太子は、お茶を飲んだか？

お茶はいつから飲まれていた？シンポジウムで、起源を訪ねてみよう。

家庭で、茶の間で、休憩室で、食堂で、飲食店で何気なく飲んでいるお茶。お茶の習慣はそれこそ『日常茶飯事』となつて日本人の生活に根を下ろしています。でもお茶を飲みだしたのはいつたい、いつごろからだつたのでしょうか。通説では平安時代。でも、どうやら奈良時代にまでその起源をさかのぼれそうだと、という説が広がろうとしています。平城遷都1300年の今年、事始めの地・奈良で、研究者や専門家たちのロマンあふれる公開討論に耳を傾けてみませんか。

平成22年 **8月21日** 〔土〕午後1時開始

奈良県新公会堂能楽ホール 奈良県奈良市春日野町101

定員／500人（無料、先着順）主催／フォーラム天平茶論 後援／社団法人平城遷都1300年記念事業協会

協賛／手向山八幡宮 関西印刷株式会社 応募受付／株式会社エヌ・アイ・プランニング（天平茶論事務局）

電話：0743・73・8877 フェックス：0743・73・7781（受付）午前9時～午後5時



平城遷都
1300年祭